



さつき学園だより

令和6年1月9日号

校長 原田 英和

守口市立さつき学園

〒570-0055 大阪府守口市春日町13番26号

電話：06-6991-0440／Fax：06-6995-2511

厳冬の候 保護者の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は本校の教育活動につきましてご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、年初から石川県能登半島地震による大きな災害が発生しました。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、犠牲になられた方々に謹んでお悔やみ申し上げます。

<始業式講話より>

校長先生からお話をします。2024年元旦から、石川県能登半島で地震による大きな災害が発生し、多くの尊い命が失われ、今もなお多くの方が避難生活を送られています。また、2日には東京・羽田空港の滑走路上で日本航空と海上保安庁の航空機が衝突した事故が発生しました。この事故においても海上保安庁の航空機に乗っていた5人が亡くなりました。亡くなられた方々のご冥福をお祈りします。

皆さんで黙とうを捧げます。皆さん静かに目を閉じてください。私が「黙とうやめ」と言うまで静かに目を閉じてください。～黙とう～

新年のスタートからこのような災害や事故についてお話するのはつらいですが、この出来事をどのように受け止め、どのように生かしていくかが大切だと思います。

地震はいつ何時、どこで起こるか予想できません。だからこそ、日頃からの備えが大切になってきます。地震などの災害が起きた時、どのような行動をとるべきか、何を準備しておくか、どこに避難するのかなど、家族でしっかりと話し合っておくことが必要だと思います。

今回の航空機事故では日航機に搭乗していた乗客・乗務員合わせて379名が全員脱出することができました。これは日頃からの訓練の賜物であり、世界からも奇跡の脱出劇と称賛されています。この脱出劇を生み出したのは客室乗務員たちの迅速な対応と適切な声掛け、そして、多くの乗客が落ち着いて指示に従い、行動できたからだと報道がありました。学校においても年に数回、避難訓練を行います。いかに訓練が大切で必要か、今回の事故で改めて感じました。

話は変わりますが、今日から3学期がスタートします。今年度の締めくくりとなります。勉強にスポーツに励み、充実した3学期になるようにしてください。

そこで、みなさんが楽しく学校生活を送れるようにするため、今からの話をしっかりと聞いてください。今日、お話するのは「いじめ」についてです。「いじめ」にあたる具体例をいくつか挙げます。

- ・冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことと言われる
- ・仲間はずれ、集団による無視
- ・軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする
- ・ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする
- ・金品をたかられる
- ・金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする
- ・嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをさせたり、させられたりする
- ・パソコンや携帯電話等で誹謗中傷や嫌なことをさせる

これは、さつき学園の「学校いじめ防止基本方針」でいじめ行為として定めているものです。いじめの中で、『犯罪行為や児童等の生命、身体または財産に重大な被害が生じるような場合は警察と連携した対応をとること』としています。

先月、あるご家庭のポストに誹謗中傷の書かれた紙が投函される（入れられる）という件がありました。現在も警察が捜査を行っています。人を傷つけるこのような行為は絶対にあってはならないことですし、許されないことです。もし、この件に関して、見たり聞いたり、何か知っていることがある人は担任の先生などに伝えてほしいと思います。

最後に、寒い日が続きますが、体調に気を付けてほしいと思います。皆さんにとって素晴らしい一年になることを祈って、校長先生からのお話とします。